

ひとよし市議会だより

2011 第70号 平成23年10月15日 発行：熊本県人吉市議会／編集：議会報編集委員会

市のホームページからでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.lg.jp>
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp



半てんおろしに「祈」の文字

～ 主な内容 ～

- P 2～4 …… 各委員会報告
- P 5～8 …… 一般質問
- P 8 …… 南九州中部市議会議長会議員研修会参加
- P 9 …… 郵政改革法案の早期成立を求める意見書、
請願・陳情の審査結果
- P 10 …… 議案等の審査結果、編集後記

総務文教委員会報告

●委員長 川野 精一 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮崎 保・平田 清吉・仲村 勝治・永山 芳宏

防災行政無線整備事業が始動!!

本委員会は、条例案件2件、予算案件2件、陳情案件2件を審査いたしました。

議第70号人吉市暴力団排除条例の制定については、警察による暴力団への取り締まり強化のみならず、県、市町村、市民、事業所および関係機関等が相互に連携して、暴力団排除に向け取り組むことを目的として制定するものであります。

議第71号人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、スポーツ基本法の施行に伴い、体育指導委員がスポーツ振興委員に改められたため、条例の一部を改正するものであります。

予算案件での主な増額補正は、総務費関係では、市制70周年記念事業に伴う「まちづくり親善大使」の招聘と、「男女共同参画講演会」等の経費に102万2千円。他に、70周年記念事業関連経費の947万6千円。人吉インターチェンジ高速バス停留所整備事業の負担金が103万5千円。消防費関係での消防設備費702万円は、一昨年度に実施した防災行政無線電波伝搬調査で、スピーカー設置空白地帯となった地域を再度調査する委託料と、防災行政無線整備事業の実施設計委託料であります。教育費関係では、来年度工事予定の、人吉西小学校耐震および大規模改修工事の設

計委託料と、西瀬小、東間小の給水設備老朽化に伴う改修工事設計委託料に931万円。各小学校の老朽化部分の改修工事費等に638万6千円。第三中学校のプールサイド改修工事に271万6千円。五木の子守唄歌碑移転事業に147万7千円。東間小学校屋根防水工事に1,300万3千円。第一中学校体育館屋根防水改修工事に1,256万2千円。人吉城歴史館誘導案内板設置に257万円。市民プール改修工事に1,561万6千円などであります。審査の結果、全会一致で認めることに決しました。

また、陳情案件では、郵政改革法案の早期成立を求める意見書の提出に関する陳情を、全会一致で認めることに決しました。



市民プールを視察する総務文教委員会

予算委員会報告

●委員長 三倉美千子 ●副委員長 大塚 則男
●委員 全議員

本委員会に付託されました、議第61号平成23年度一般会計補正予算(第4号)のうち歳入(全款)並びに地方債の補正について、および、議第73号平成23年度一般会計補正予算(第5号)のうち、歳入につきまして、審査の結果を報告いたします。まず、補正予算(第4号)は、そのほとんどが国庫補助金・県補助金の交付額の決定や臨時財政対策債の発行可能額が確定したことによる補正、国・県の補助事業が内示または交付決定による補正で、歳入歳出それぞれ4億250万円を追加する

ものです。

次に補正予算(第5号)は、歳入歳出の総額それぞれ1億503万9千円を追加するものです。市町村振興宝くじの通称サマージャンボ宝くじ収益金を積み立てた、基金を活用した交付基金の交付決定に伴うものです。

委員からは選挙供託物没収金、立木売却収入について、熊本県市町村振興協会交付金の財源振り分けについてなどの質疑がありました。慎重審査の結果、全員異議なく認めることに決しました。

厚生委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 高瀬 堅一・村口 隆・田中 哲・三倉美千子

介護保険特別会計 国の新規モデル事業 24時間対応の定期巡回・随時サービス等推進事業実施

本委員会に付託されました専決処分の承認2件、予算案件7件について審査の結果を報告いたします。

【専決処分案件】人吉市税条例等の一部を改正する条例は、地方税法等の一部を改正する法律が平成23年6月22日成立、6月30日公布、施行されたことに伴い、関係条例の一部改正を行い、専決処分されたものです。

人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例は、地方税法の一部改正により条文に移動があったため条文を合わせるために改正するものです。

【予算案件】平成23年度人吉市一般会計補正予算の主なものは、災害時要援護者等支え合い体制づくり事業に伴う経費、老人福祉センター排水路用地測量業務委託料及び改良工事費、働く世代の大腸がん検診委託料等が主なものです。

国民健康保険事業特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ2億7,335万1千円を追加し、50億5,251万1千円とするもの。

後期高齢者医療特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ3,737万4千円を追加し、5億2,515万円とするもの。

介護保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ9,225万5千円を追加し、37億2,770万3千

円とするもの。国の新規モデル事業「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス等推進事業費補助」と「市町村認知症施策総合推進事業費補助」が主なものです。

介護サービス事業特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ159万2千円を追加し、3,086万7千円とするもの。

水道事業特別会計補正予算は、職員の人事異動等による人件費の組み替えが主なもの。

公共下水道事業特別会計補正予算は、前年度繰越金の補正と人事異動に伴う人件費の補正が主なものです。

以上、専決処分2件、予算案件7件原案どおり認めました。



大畑産業廃棄物処分場を視察する厚生委員会

議会運営委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 西 信八郎
●委員 宮崎 保・大塚則男・平田清吉・松岡隼人・井上光浩・川野精一

＜南相馬市に災害救援ボランティア派遣決定＞

今回の9月議会は、去る8月30日に議会運営委員会を開催し、会期日程等を協議いたしました。会期を9月6日に開会し、27日を委員長報告・採決・閉会といたしました。南相馬市に災害救援ボランティアを派遣する事業は人吉市一般会計補正予算（第3号）民生費の社会福祉協議会補助金（災害救援ボランティア養成事業）として開会日の冒頭に提案され可決されました。

質疑を含めた一般質問は、今回14名の議員が

登壇いたしました。内容的には、防災、教育、医療、農業、観光、環境問題と多岐にわたっております。

また条例3件、案件議案2件、予算9件を原案どおり認め、陳情1件を採択、意見書1件を可決しております。なお「平成22年度人吉市歳入歳出決算認定について」は、決算特別委員会を設置し、審査することに決まりました。

経済建設委員会報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 井上 光浩
●委員 大塚 則男・犬童 利夫・西 信八郎・森口 勝之

新規の緊急雇用策と企業立地支援策の実施

本委員会に付託を受けました9月議会上程の議案のうち、「平成23年度人吉市一般会計補正予算第4号」と「人吉市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について」の審査の過程での主なものを報告いたします。

平成23年度人吉市一般会計補正予算第4号のなかで、労働費のうち、地域雇用創出推進費1,098万6千円の増額は、緊急雇用創出基金事業で、「耕作放棄地を活用した農業生産技術習得支援事業」の拡充により市内で農業を営む法人への新規雇用4名の事業委託料と、新規事業として本市図書館に保存されている「マイクロフィルム保存古文書のデジタルデータ化による活用事業」における新規雇用7名を含む事業委託料であります。

また、農林水産業費のうち、企業等農業参入支援事業費補助金386万9千円の増額は、「ベベリーフ」の生産、販売を計画されている法人の施設整備事業への補助金であります。委員から、参入する企業の形態などについての質問に、「市内の電子部品製造企業の新規参入であり、西原村にある会社との契約栽培で行う」との説明がありました。

次に、「人吉市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について」であります。本条例

は、平成18年10月1日より施行されていましたが、今回、新規雇用者の条件の市内在住者に限るといった文言を削除、また、今までなかった増設に対する工場等建設補助金を規定するなど、支援できる企業の条件を緩和・拡充することになり、あらゆる業種、規模の企業も立地しやすい環境を作り出し、また地元企業の事業拡大を積極的に支援し雇用創出を促進する効果を期待するものであります。

審査の中で委員の中から、このような緩和策はスピード感をもってやってほしいとの強い要望もありました。慎重審査の結果、全員異議なく認めることに決しました。



石野公園修繕工事予定地を視察する経済建設委員会

平成22年度 決算特別委員会を設置

平成22年度の決算を審査する決算特別委員会を設置しました。

委員会は閉会中に審査を行い、12月定例会で結果を報告します。

委員長／田中 哲

副委員長／井上光浩

委員／村口 隆、大塚則男、
平田清吉、犬童利夫、
笹山欣悟

議会制度研究会の 活動報告

6月に全議員を委員としてスタートしましたこの研究会では現在、市議会報告会について検討をしており、来年1月下旬の開催を目指して準備を進めています。日時などの詳細が決まりましたら、みなさまにご周知いたします。

武道の必修化と
ジャンボタニシ



田中 哲

問 中学校で選択履修だった武道が来年度から必修化されるが、保護者への説明、用具負担なども分からないとの声があるか。

答 保健体育の授業として履修することになる。特別の時間を設けるものではない。柔道、剣道、相撲から選り、中学一年、二年生の男女全員が履修する。最終的には保健体育の総合評価となる。年間五、六時間程度履修し、諸事情により履修できない生徒については、本人や保護者との十分な相談の上、各学校により適切に対応する。

問 他の武道は選択出来ないのか。

答 なぎなたとそのほかの武道も出来る。二校で剣道に決まり、一校で剣道か柔道を検討中、剣道においては保護者負担はなく、柔道においてはまだ未定。

※選択履修のはばと、保護者説明会、武道場の充実を要望。

問 ジャンボタニシが今年度は異常発生しているようだが対策は。

答 関係農家への防除対策の周知徹底と、発生状況の実態把握に努め、農家の意見を聞きながら、スクミノン粒剤の配布を検討。

被災者支援システム
導入について



豊永 貞夫

問 阪神・淡路大震災のさなかに構築された「被災者支援システム」は、被災者支援に必要となる膨大な行政事務を効率的に処理することができ、今回の東日本大震災後に、多くの自治体が導入されました。本市でも大規模災害が発生した場合には必要になると思われるが、導入について本市の考えは。

答 被災地の経験と教訓、ノウハウを活かし、大規模災害発生時に役立つ大変有効なシステムであると考えられます。本市としても、導入に向けて取り組んで参りたいと考えています。

問 学校給食で、食物アレルギーに対応している取り組みと、対応食についての今後の考えは。

答 現在、省令で表示の義務を定めている原材料七品目の中で、そば、落花生、カニは使用していない。牛乳は飲まないことに対応している。アレルギー対応食については、対応できる調理施設が整備されていないため、無理に実施することで、事故を招くことも考えられ、現時点では困難であると考えています。

子ども手当の
今後の取り扱いについて



平田 清吉

問 新聞報道に「子ども手当特措法成立」との見出しで、未納が続いている学校給食費や保育費を子ども手当から本年十月以降天引きできる仕組みを導入したとあったが、市としては今後、子ども手当の取り扱いをどのように考えるか。

答 子ども手当の詳細については未だ正式な通知が来ていないので不明な点があるが、あくまでも受給者本人の「申し出」により徴収することとされており、全ての方から学校給食費等を子ども手当で徴収することにはならないのではないかと。また年度の途中であり、今年度中の子ども手当からの徴収は、見送らせていただきます。

※その他、学校給食費未納問題対応臨時雇用職員、人吉市図書館増床改修による環境の充実、球磨川河川への排水樋門における排水ポンプの増設及び浸水常習地区家屋の高上げ、公共下水道事業計画区域外周辺の今後の計画、今後の雇用拡大策、人吉温泉観光協会への補助金認定、今後の人吉市のまちづくりについても質問しました。

御溝川二次放水路対策と
今後の取り組み



大塚 則男

問 今後も県と同じ方向で御溝川二次放水路計画を目指していくのか。

答 既設水路を利用するため、現実的な計画であり人吉土地改良区・県・市で事業実施に向け協議を行い課題も残っているが、実現に向け県・市一体で事業を進めて参りたい。

問 御溝川二次放水路対策としてこれまで対策案を検討したことがあるか。今後新たな提案が出た場合、県に検討のお願いが出来るのか。

答 山江川の一部を一次放水路へカットする提案があったが、コスト高のため事業が難しいとの結論に至った。新たな提案については、実施に値するならば県に検討をお願いして参りたい。

問 御溝川の鷹木川合流点から山田川への放水路測量調査と鷹木川の整備に向けての対応は考えているのか。

答 鷹木川合流点からの測量調査は大きな前進と考え最大限努力を行い、市管理の鷹木川整備は御溝川合流点の整備状況を確認しながら着手時期を判断したい。

第五次総合計画策定状況と
議会の係わりは



笹山 欣悟

問 第五次総合計画の策定について経過と今後のスケジュールはどうか。

答 平成二十二年四月に市民二千人を抽出して市民意識調査を実施し、市民ニーズの把握と課題を分析し、タウンミーティング、平成百人委員会で市民の意見を集約した。第四次総合計画の検証を踏まえ計画の素案を策定中である。

問 地方自治法の改正により、策定義務の撤廃に伴い議会の議決も不要となったが議会との関与をどのように考えるか。

答 市民の最上位計画として位置づけているが、総合計画策定審議会の部会に市議三名が加わって頂き、審議に関与して頂きたいと考えている。策定された計画案については来年三月議会でお示ししたい。

※最上位計画として位置づけるのであれば、議会の承認を求めるプロセスが重要である。地方自治体の二元代表制の役割を考えると議決案件として条例化するべきと再考を求めた。

大村横穴群の
安全対策について



松岡 隼人

問 本市は、大村横穴群の安全性を確保するために、どのような対策をとるのか。

答 国庫補助事業による史跡保存修理事業により、壁面の安定化を図ることが、工法的に有効であると判断した。本年七月に事業計画書を国に提出した。平成二十四年度に国庫補助事業に採択されれば、早期に実施設計、地質調査を行い、平成二十五年度には、民家背後部の施工を予定している。

また、補助事業として事業を着手するまでの安全面を確保していくための対策としては、横穴部分の壁面や民家の背後の壁面と上部を対象に、除草と伐採を行う。

問 通学合宿のための校区公民館の使用は可能か。また、本事業に対する支援の考えは。

答 現時点では、校区公民館の使用は許可出来ないが、今後、事業に関しては出来る限りの支援を行う。

※平成二十四年度教科用図書採択に関して、採択の観点、視点とその理由について質しました。

向こう三軒両隣
支え合い体制について



犬童 利夫

問 「向こう三軒両隣 災害時要援護者等支え合い体制づくり事業」の内容は。

答 モデル町内として、下薩摩瀬町に相談しているところであるが、講師の指導による災害時支え合いマップづくりを通じて、要援護者一人ひとりの避難計画を作成し、避難訓練に参加をいただける方については、訓練の中で、実際の避難経路を確認するなどの計画をしている。

問 人吉・球磨スマートインターチェンジ整備促進協議会の進捗状況と今後についての考えは。

答 国の制度変化についての情報は、協議会へ報告した。現状は具体的な動きにまでは至っていない。今後は、南九州の交通の要衝として、企業誘致にも有利に働くと考えている。整備にはかなりの費用負担が想定されることや、人吉球磨全体で取り組む課題であり、慎重に進める。

問 住宅の耐震化等の補助は。

答 国の補助制度を活用したい。平成二十四年度に耐震診断調査、二十五年度に耐震改修工事実施に向け、検討している。

人吉駅裏野鳥対策・
市道路拡張は



宮崎 保

問 人吉駅は人吉観光の玄関口であるが、裏山の野鳥対策は。

答 野鳥の生息実態は、約六種類が年間を通じて生息しているが、生息数は把握していない。悪臭や糞害についての苦情相談はないが、地域の方から、臭い、糞害の情報はあつてい

る。生息数を減らす何らかの方法を県や専門家と相談し、対処法を検討していきたい。

問 市道戸越永葉線の改良拡張は、長年の要望であり、生活関連道路であり、離合もままならない状況である。改良拡張する計画はあるのか。

答 道路脇には住宅等が立ち並び、事業着手は厳しい状況にあるが、市としても何らかの対策をとる必要が迫られている。早急な対策として、道路側溝を蓋付きに替える等の拡幅工事をしたい。

黒坂橋・一ツ橋区間は、橋梁を架け替えるものがなく、比較的整備しやすいので、今後はこの区間の整備を進めていきたい。

※口蹄疫について、環境面から再度確認のために質問しました。

スポーツを活かした行政運営について



村口 隆

問 スポーツの競技力向上策の観点から、市職員採用において、人物重視のスポーツ採用を実施されている自治体があるが、本市では実施する考えはあるか。

答 スポーツ採用は現在のところ直ぐに実施ということは考えてないが、今後、必要に応じて検討してまいりたい。

問 市長のマニフェストにより「川上哲治氏顕彰事業」について、どのように考えておられるのか。

答 市制施行七〇周年記念事業において、「川上哲治物語背番号16」の放映会や、川上氏の偉業にふさわしい記念事業を展開していきたい。

問 川上氏の生家や大村小学校跡地から近い旧中津留美術館跡地を川上哲治記念館に改修・活用したらどうか。

答 旧中津留美術館跡地は「お城望み庭園」として整備することが決まっております。石野公園の展望所を核として展示資料等を備えていきたい。

※他に川上記念球場の活用や市道及び通学路の安全確保についてなど質問しました。

特定健診・人吉インター待合所について



三倉美千子

問 特定健診の受診率向上対策は。

答 申込書を郵送提出も検討。十一月の追加健診を電話や家庭訪問等で勧奨し、職場健診や人間ドック健診を受ける方に健診データの提供をお願いしている。

問 平成二十四年度までに受診率を六十五%に上げる見通しは。

答 特定健診受診率を六十五%切ると後期高齢者支援金の額などのペナルティが課せられ、国民健康保険税が高くなる可能性もある。各町内の会合や受診中の方へ医療機関から健診の勧めのお願いを考えている。また、健診の申込書や受診票などを改善し、わかりやすい健診体制を整えるため、医師会や関係機関とも協議を重ね、市民の皆様にお願ひし目標達成に取り組む。

問 人吉インターチェンジのバス待合所の改修の規模や内容は。

答 プラットホーム全体の約十五メートルに屋根をかけ、備え付けベンチ三基設置。市の負担は百三万五千円。十月中に着工、今年度中の完成を予定している。

※その他、災害時の薬の備蓄。禁煙・分煙について質問しました。

大学校との包括協定について



川野 精一

問 熊本県立大、崇城大、熊本学園大との包括協定への市長の思いは。

答 平成二十年に県立大、二十一年に崇城大、今年八月に学園大と協定を結んだ。情報、人、学術研究、地域イメージ、新たな視点など様々な流れが起こることを期待している。地域課題の解決には、大学等の専門機関の力が必要。県立大とはまちづくりに関係で。崇城大とは河川浄化や、新たな農作物や漢方・薬膳の調査など。学園大とは、本市の農業、商業を中心とした地域経済の活性化をお願いしたい。今後、多くの専門家や研究者が本市を訪れることや、多くの先生や学生が集うことを考え、人吉分校も考えている。

問 グリーンラインやカラー舗装差

答 外側線とグリーンラインの効果が好評。必要に応じ舗装補修を行いなから、計画的に取り組む。カラー舗装交差点は、現在、市道に二カ所設置してある。本年度にもう一カ所設置する。

カルチャーパレスの補修計画の現状は



西 信八郎

問 今年四月から市に移管された人吉市カルチャーパレスの改修計画は、現在どういう状況か。

答 多額の財源を伴う事業なので、文化庁・芸術文化支援員派遣事業の専門員による指導助言を受け、それに基づき総合的改修計画を策定する準備を進めている。

問 老朽化している舞台の吊り物は危険であると思うが、その対応策はどうするのか。

答 人の命に係わる事故になりかねないので、第一項目に掲げている。現在、年四回の保守点検業務を行い、点検後に部品の取り替えなど部分補修などで対応している。

問 ひとよし春風マラソンは、今回、熊本城マラソンと同日開催となるため参加選手の減少が懸念されるが、その対応策は考えているのか。

答 前回の参加者に参加を呼び掛けたり、ポスターやリーフレットの作製など準備を進めている。おもてなしの一層の向上に努め、熊本城マラソンと差別化を図る。

※この他に、小・中学校の部活動について質問しました。

人吉市の教育再生を

目指して



仲村 勝治

問

教育再生会議の第一次報告から最終報告までの提言により、教育関係の法律が改正された。地方教育関係の組織及び運営に関する法律の中から質問。近隣の教育委員会との共同設置について、日本の人口の減少、通信機器の発達、車社会などの社会変化を考えた場合、次の世代の教育は広域的な教育行政を考える時ではないか。

答

検討したことはない。発議として提出されれば、教育委員会として真摯に取り組む。

問

教育委員会所管のスポーツに関すること、文化に関することを市長部局に移し、観光とスポーツ、観光と文化を結びつける機構改革はできないか。

答

次回の機構改革では、他の自治体の規定や事例を勘案して、進めてまいりたい。現行の体制に問題があることはない。政策の執行に支障を来すことはない。文化、スポーツの業務を市長部局に移し、より効果的、効率的に施策を展開していけるかという観点から最も適した組織体制を検討してみたい。

肥薩線を未来へつなぐ

協議会について



森口 勝之

問

市長の施政方針に初めて登場した「肥薩線を未来へつなぐ協議会」の設立趣旨・目的は。

答

圏域の宝ともいえる肥薩線の歴史的及び文化的な価値を検証し、その保存活用を図っていくのが目的であるが、具体的にはD51型蒸気機関車の復活運行と肥薩線の世界遺産登録を目指すものである。

問

世界遺産登録の魅力は。

答

観光振興と文化財保護の両面でプラスの効果があると考えますが、特に先進事例によると、国内はもとより海外からの観光客の大幅増加が期待できる。

問

南九州が連携してこの事業を進め、更に盛り上げていくためにも熊本、宮崎、鹿児島三県知事に顧問就任を要請すべきでは。

答

今後、関係各団体及び南九州三県の関係者に対して全面的な支援協力をお願いしていく。

問

えびの市、湧水町を含んだ協議会の会長として市長の思いは。

答

市の総合計画に盛り込むことが肝要であり、子や孫のためにもこの運動は地域一丸となって取り組む覚悟が必要である。

南九州中部市議会議長会

議員研修会に参加

去る八月八日(月)小林市において、南九州中部市議会議長会研修会が開催されました。南九州中部市議会議長会は、小林市、えびの市、伊佐市、人吉市の四市議会で構成されており、議員研修会には人吉市からも十六名の議員が参加しました。

宮崎県NIE推進協議会事務局(元宮崎日日新聞社編集局次長)小川 清一郎氏を講師として、「読みたくなる議会だより」をテーマに講演がありました。

議会だよりを編集する際の心がまえや記事の種類、記事の書き方、写真の撮り方、見出しのつけ方などについてお話がありました。

今後は、更に文章をわかりやすく、市民の皆様に興味をもつていただけるような誌面づくりに取り組んでいきたいと思えます。



9月議会で次の意見書を採択し、 内閣総理大臣や衆・参両院議長など 関係機関へ提出!!

郵政改革法案の早期成立を求める意見書

これまで郵便局は、地域社会において「情報」「安心」「交流」の拠点としての役割を担っており、特に過疎地域を多く抱える当市においては、地域住民の利便性の増進等に大きく貢献していた。

しかし、平成十九年十月、郵政民営化法に基づき郵便・貯金・保険の郵政三事業は民営・分社化され、郵便外務員に貯金・保険の取扱いを依頼できない、郵便局へ郵便の問い合わせができない、各種手数料が上がった等、「利便性向上」をうたう法の趣旨に逆行するさまざまなサービスダウンが生じ、地域住民から不満の声が多く寄せられている。

また、現行法には、郵便事業は全国一律のサービスを維持することが明記されているが、金融ユニバーサルサービスは担保されていないため、将来的に貯金・

保険を提供できない郵便局が現れ、公益性・地域性が失われる恐れがある。当市においては、金融機関が郵便局のみという地域が多数あり、住民生活にとって死活問題であると懸念している。

これらの不満・不安を解消するため、昨年四月郵政改革法案が閣議決定され通常国会に提出されたが、以後秋の臨時国会、さきの通常国会と未だ成立しておらず、たなざらしの状態が続いている。この間、郵便事業における経営不安も報道されているところである。

全国二万四千郵便局ネットワークは国民共有の財産であり、生活に必要不可欠なライフラインでもある。それを今後も維持し、更に地域社会が有効活用していくためにも、一刻も早く郵政改革法案を成立するよう、強く要請する。

請願・陳情の審査結果について

委 員 会	請 願 ・ 陳 情 の 内 容	審 査 結 果
総務文教委員会	田野小学校の統廃合に関する陳情	継続審査
	郵政改革法案の早期成立を求める意見書の提出に関する陳情	採 択
厚生委員会	350万人のウイルス性肝炎患者の救済について国への意見書提出を求める陳情	継続審査
	認可外保育施設へ通う子ども達への助成を求める陳情	継続審査
経済建設委員会	「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める陳情	継続審査
	歴史ある曼荼羅川の再生を願う陳情	継続審査

平成23年9月定例会の議案等の審査結果

番 号	件 名	議決結果
議第58号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市税条例等の一部を改正する条例)	原案承認
議第59号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議第60号	平成23年度 人吉市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第61号	平成23年度 人吉市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議第62号	平成23年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第63号	平成23年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第64号	平成23年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第65号	平成23年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第66号	平成23年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第67号	平成23年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第68号	平成23年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第69号	平成22年度 人吉市水道事業特別会計決算の認定について	継続審査
議第70号	人吉市暴力団排除条例の制定について	原案可決
議第71号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第72号	人吉市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	平成23年度 人吉市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第74号	平成22年度 人吉市歳入歳出決算認定について	継続審査

編集後記

十月に入り、一日の気温の変化が大きくなる季節となりました。市民の皆様におかれましては、健康に十分ご留意されお過ごし頂ければと思います。

さて、十月十六・十七日に第二十四回全国健康福祉祭ねんりんピックが熊本県全体で行われ、その中で囲碁交流大会が人吉市スポーツパレスにて行われます。この大会を通じて、高齢者の皆様が、今まで以上に明るく元気に過ごされ、全国の皆様との交流を深めて頂ければと思います。

先日、人吉市社会福祉協議会より参加募集しました災害救援ボランティア養成事業には、予定人員を大きく上回る参加希望を頂きました。参加されるボランティアの皆様には、被災された皆様との交流や被災地での活動を通して、被災地復興にご尽力頂きますとともに、今後の人吉市の防災に活かして頂きますことを期待いたします。

(文責：高瀬 堅一)

〔議会報編集委員会〕

- 委員長／永山芳宏
- 副委員長／森口勝之
- 委員／宮崎 保・高瀬堅一
- 大塚則男・犬童利夫
- 豊永貞夫・笹山欣悟

次の定例会は十二月です